

## 空き古民家活用促進の取組状況

～地域資源の記念館、富裕層向けゲストハウス、起業家のインキュベーション等～

■ 昨年4月締結の「京都府北部エリアにおける地域活性化を見据えた古民家活用促進に関する協定」（京都府、中川住研ほか）に基づく空き古民家活用促進の取組状況について、とりまとめました。

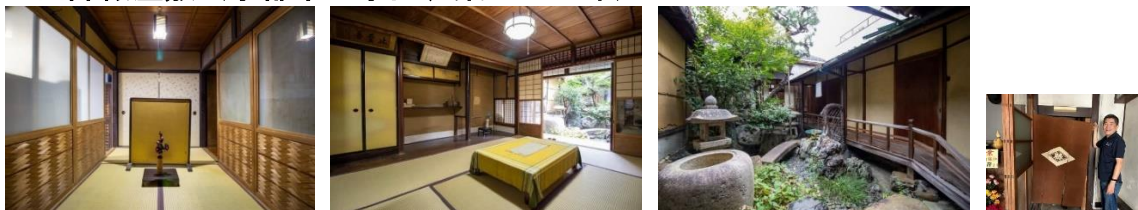
### 1 取組状況（2022年4月～2023年6月）

空き古民家の提供希望件数：67件 ⇒活用（購入・賃貸）件数：9件

※京都府等が関係していることで、安心され、多数の提供希望をいただくことができました。

### 2 活用事例（取材対応可）

#### ○西陣織屋敷（京都市上京区、築120年）



⇒生田グローバル(株)(京都市)が外国人向けインキュベーション開設(7/6～)

#### ○有形文化財「鞭家住宅」（与謝野町、19世紀初頭）



⇒関東在住の方が、「記念館」としてリノベーションして再活用(予定)

京都府与謝野町有形文化財 鞭家住宅。歴史的伝承 麻呂子親王から（宇津木）の鞭をいただき、吉田姓から鞭姓に改めたといわれる歴史的建物が空家となっていた。購入者は、鞭家の歴史と伝統を受け継ぎ大規模に改修して記念館とする予定。

#### ○庄屋屋敷（京丹波町、築250年）



⇒関東在住の方が、外国人向けゲストハウスとして再活用(予定)

『船井郡誌』萬延の一揆の舞台となり酒屋辻金右衛門方に押寄せた形跡が残る庄屋屋敷。関東在住の方が別荘として使用しながら、外国人富裕層向けゲストハウスとして活用を検討されている。

※その他6件の活用状況については、下の問合せ先までお願いします。

#### 【本報道発表に関するお問合せ】

商工労働観光部ものづくり振興課 課長 足利 TEL 075-414-4846

株式会社中川住研 代表取締役 中川 TEL 0771-25-7110

